2025年04月 Vol.115

～ワクワクwellness～

心身魂のお掃除処

2025.03
自然神 巡り

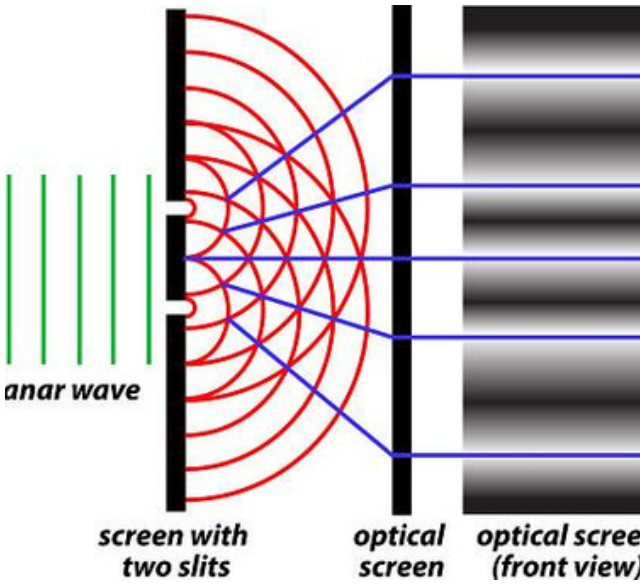
＊３泊４日にて　風の神様・水の神様・火の神様　ご挨拶してまいりました
＊明治天皇の御製をコトタマで読みとく５次元の旅　５冊ペーパーパックにて発売開始

お知らせ

04/17	湯河原　滝行
04/28	当院 護摩祈祷

株式会社 チー神　〒152-0002　東京都目黒区目黒本町1-10-17wellness 03-3716-1704

【量子物理学とコトタマ】



「なぜ、ものごとは“現象”となって私たちに認識されるのか？」
母音＝主体（見る者）、半母音＝客体（見られる物）
コトタマの学問では、先天の十七音という基本的な枠組みが提示されます。そこには、

- 母音：イエアオウ
- 半母音：ヰヱワヲウ
- 父韻：チイキミシリヒニ といった要素が含まれます。

特に大切なのが、**母音＝主体（見る者）**と、
半母音＝客体（見られる物）という見方です。
例えば「木」がそこに存在していても、私たち（見る者）が意識を向けなければ、「木」はその人にとっては“ないも同然”に。
逆に、私たちだけが「何かを見る」という意志をもっていても、そこに見る対象が存在しなければ「見る」行為は成立しません。
＜量子物理学との不思議な共通点＞
現代の量子物理学でも、「観測」という行為が物質の状態を確定させる——いわゆる「観測問題」が重要視されています。

- 観測者（主体）が存在しなければ、対象（客体）の状態は曖昧（波のような状態）
- 観測が行われると、対象の状態が“粒”としてハッキリと定まる

これは、コトタマが説く「主体と客体のシンクロナイズ」や「見る者が意識を向けて初めて、見られる物が ‘現象’として立ち現れる」という考え方と、どこか似たものを感じさせます。
既に、**縄文のころから日本人の祖先はそのことを見事にコトタマをつかって体系化**していたんですね(^_-)-☆
父韻（フイン）と言霊イヰ（創造意志）
さらに、単に「見る者」と「見られる物」があるだけでは、私たちの世界は成り立ちません。そこには、この両者を結びつけ、現象を起こす力が働いているとされています。それが、

- 父韻（フイン）：八音からなる“橋渡し”的な力
- 言霊イヰ（創造意志）：現象を創造し、名づけ、認識へと導く根源的エネルギー

という存在です。目に見えない“はたらき”があるからこそ、「木を見て ‘木だ’ とわかる」現象が生み出されるのだと、コトタマの世界ではとらえられます。

コトタマ幸座　公式ライン

家呑みトモごはん

【豆腐のアヒージョ】湯豆腐感覚で☆彡

①ニンニクをつぶし鷹の爪は小口切り。木綿豆腐はスプーンですくって、スキレットに入れる。
②オリーブオイルをいれ煮物のようにクツクツする火加減。白だしを回し入れ　ポン酢で食べる

終わった後のオイルはパンをつけてたべたり、
パスタに使っても美味しいです！
湯豆腐感覚でパクパク食べれます!(^^)!